

平成28年度事業計画

【創設の理念・目的】

広域多摩地域を中心に、大学が核となって、大学・行政・企業・団体等との協働を通して、教育を柱に、地域の活性化、調査・研究開発、情報提供、交流促進、大学間連携等を実践し、もって、地域の発展はもとより、わが国の教育の改善・発展と社会貢献に寄与する。

本計画は将来構想検討審議会より平成20年11月に提出・採択された答申書を基本とする。

I. 公益目的事業

第I事業：大学間連携事業

大学間連携を深化させ、連携組織間の戦略的連携を進める

1. 単位互換事業〔継続〕

(実施項目)

(1) 参加大学から提供される科目による単位互換、企業等から提供される提携講座

① 特別講義1(読売提携講座)(会場：明星大学)〔継続〕

② 読売新聞提携講座(会場：中央大学)〔継続〕

(会議)

(1) 単位互換参加大学・短大担当者会議

(2) 各提携講座担当者会議

(検討項目)

(1) リメディアル教育の検討

2. 学生教育ボランティア〔休止〕

(検討項目)

(1) 加盟大学の意見収集を行い、学生教育ボランティア担当者会議の実施を検討する。〔短期計画〕

3. 多摩未来奨学金〔継続〕

(実施項目)

(1) H27年度・多摩未来奨学生プロジェクトを実施し、成果を公表する。

(2) H28年度・多摩奨学金募集要項を作成し、募集する。

(3) 多摩未来奨学生と協賛企業・団体の拡大に努める。

(委員会)

(1) 多摩未来奨学金審査委員会

(2) 多摩未来奨学金運営委員会

(コーディネーター)

(1) コーディネーター会議

4. 就職支援事業〔継続〕

(実施項目)

- (1) 在学生、既卒者を対象とした就職支援事業を地域と連携して実施する。
- (3) 求人情報を賛同企業から情報収集し、加盟大学就職担当部門に周知する。
- (4) 東京しごとセンター多摩などと連携し、合同就職説明会開催や求人情報を周知する。
- (5) 学生の就業力育成支援「ワークプレイスメント」の情報を大学に配信する
- (6) インターンシップのカリキュラムの設計及び講座の実施支援を行う。

5. 学生生活支援事業〔継続〕

(実施項目)

- (1) 新入生対象の一人暮らし相談会・説明会をキャンパスツアーや入試相談会で開催する。
- (2) 新入生・在校生対象の「一人暮らしの学生のトータルケア(①住居情報 ②加盟行政が提供する地域生活情報 ③学生による学校情報やアルバイト支援)」をAGORA立川で開催する。

(検討項目)

- (1) 学生生活実態調査を通じて、学生ニーズを把握し、学習環境整備事業を検討する。〔中期計画〕

6. 多摩の学生まちづくりコンペティション〔継続〕

多摩地域で活動する学生を対象とした、「多摩の持つ地域資源を発見・活用して、多摩の未来を創造する事業。多摩地域の「まち」をフィールド調査して、若者の視点や感性を活かした、今ある多摩地域の魅力を発信できる企画や、今までにない多摩地域の新しい価値を創造して、多摩地域が抱える課題を克服することで未来に活力を与えることができる「実践的」試みの提案を募集し表彰する。

(実施項目)

- (1) 多摩地域でフィールドワークを実施している学生団体を募集し、表彰する。

7. 加盟大学への講座等の提供〔休止〕

喫緊の課題である大学教育改革の一環としてPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)や学生の教室外学修インターンシップなどにより、激変する社会情勢、産業構造に対処する知的構想力並びに時代を切り拓く人材の育成が求められている。(平成24年8月中教審答申)

これらに対する施策のひとつとして大学生に企業などの技術製造部門、宣伝広告、金融などの経営者、責任者などに大学で講義いただき、社会人像、企業での成功事例・失敗事例などを学修し、大企業はもとより、地域中小企業などへの企業理解を深め、社会、企業とのミスマッチを解消する。

この目的のため、加盟大学に講座などを提案していく。

(検討項目)

- (1) 加盟大学の要望により、同様な目的のためのオーダーメイドな事業を推進する。〔短期計画〕

8. 全国大学コンソーシアムの展開〔継続〕

(実施項目)

- (1) 平成28年度第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムに参加する。

9. 多摩未来創造フォーラム（多摩地域大学理事長・学長会議）〔継続〕

(実施項目)

- (1) 平成29年度に開催される、多摩未来創造フォーラムの企画、準備を行う。

(委員会)

- (1) 企画運営委員会

第Ⅱ事業：地域の人材育成と教育力アップ事業

多摩地域の人材育成と地域の教育力の向上に努めるとともに、多摩地域の調査・研究を行う

1. 多摩・武蔵野検定〔継続〕

多摩・武蔵野検定は、多摩の魅力を掘り起こし、多摩・武蔵野のブランド化、その可視化の有力なツールとなる。合わせて、大学および行政と連携し、新コンセプト(大学院教育も含めた学び直し)で生涯学習と新たな学問の創造につなげる。

(実施項目)

- (1) 平成28年度会場検定の実施。
- (2) 加盟機関と連携を図り、団体受検の推進をする。
- (3) ジュニア検定の普及によりタマケンファン層の拡大。
- (4) 合格者の活動の場を設ける。(多摩めぐり30ボランティアスタッフなど)
- (5) マスターバンクの活性化(主体的な活動の実施、合格者のつどいなど)

(委員会)

- (1) 実行委員会
- (2) 学術委員会

2. 多摩地域行政連携事業〔継続〕

(実施項目)

- (1) 行政部会を中心とした第4回政策スクールの開催。
- (2) 新規行政の加盟促進。および行政より事務局へ職員派遣の依頼。
- (3) 行政の委託事業を実施。
- (4) 行政のイベント・ボランティアの情報配信、有識者・講師派遣の情報提供。

(検討項目)

- (1) 各事業部会・委員会と連携事業を検討する。〔新規〕
 - ① ボランティア情報をWebでリンクする。
 - ② 行政と大学・多摩地区大学就職研究会が連携した業界研究の開催。
 - ③ 市境市民の利便性・安全性を高める防災等の相互サービスの促進。

3. 女性の学び支援事業〔休止〕

(検討項目)

- (1) 女性の学び支援の為、補助金や助成金を用い、予算拡充を検討する。〔短期計画〕

4. 新任大学教員研修〔継続〕

(実施項目)

- (1) 新任教員の資質向上を目指して本研修を八王子セミナーハウスと共催で行う。

第Ⅲ事業：国際交流事業

留学生の学びやすい環境作りをはじめ、国際学園都市圏多摩の構築を目指す

国際学園都市づくりを長期的視野において、留学生の寄宿舍および外国人研究者の確保、留学生の生活支援、就職支援や留学生交流の実現を図る。

1. キャンパス TAMA プロジェクト〔継続〕

(実施項目)

- (1) 加盟大学間で連携し国際化・留学生問題などについて協議検討する。

(委員会)

- (1) 国際交流事業検討委員会の設置〔新規〕

第Ⅳ事業：環境・防災・福祉貢献事業

多摩の特色である自然を生かし、環境と福祉に優しいまちづくりを支援する

1. 環境教育事業〔新規〕

(検討項目)

- (1) 昭和記念公園とのコラボ事業の検討〔短期計画〕

2. 環境貢献事業推進を検討するとともに、福祉・防災に関する事業を検討する。〔継続〕

(実施項目)

- (1) 加盟大学間で連携し、大規模な地震や大災害の発生時における、学生の安否確認を、いち早く実行することを目的として、調査・研究を実施し、加盟大学の防災支援の一環として、安否確認システムの共同導入を検討する。〔新規〕

(検討項目)

- (1) 環境・防災・福祉貢献部会にて環境貢献事業を推進するとともに、福祉や防災に関して加盟機関の実施する事例を共有することで見識を深める。併せ東京都福祉保健局等への協力または協働事業を検討する。〔中期計画〕

- (2) 環境調査結果を元に加盟機関と連携して環境事業を立ち上げる〔中期計画〕

II. その他の事業（相互扶助等事業）

1. 多摩未来創造フォーラム（多摩地域大学理事長・学長会議）（懇親会）〔継続〕

（1）平成29年度に行われる、多摩未来創造フォーラムの終了後に、大学の学長・理事長の他、大学事務職員、教職員、行政、企業の方々が交流する場として懇親会の企画、準備を行う。

（委員会）

（1） 企画運営委員会

III. 運営、組織、人事、財政、広報の改革と実施体制

1. 運営および組織の改革を行う。〔継続〕

（実施項目）

（1） 全加盟機関参加の事業部会制を採用し、事業部会毎に担当理事と運営委員会を設置する。

（2） 理事会を補佐する常任幹事会は隔月開催する。

（3） 大学部会を隔月開催する。

（4） ガバナンスとコンプライアンス・ルールを強化すべき、理事会のもとにコンプライアンス委員会を設置し、委員会を年1回実施する。

（5） 公益法人に則した規程の見直しを行う。

2. スタッフの確保〔継続〕

（実施項目）

（1） 事務分掌等規程を整備し、事務局スタッフの増員を図る。

（2） 従来の大学からの当番制出向に依拠せず、補助金活用や就職支援の活用による会員の増強と会費収入の増額から、法人直接雇用を企図する。

（検討項目）

（1） 定款第3条（目的）に定める「大学・行政・企業・団体等との協働を通して・・・」を実行する意味も含めて、常時、複数の加盟大学から3名以上の出向者を確保する。〔短期計画〕

3. 拠点の確保〔継続〕

（実施項目）

（1） 事務局の維持・確保の努力を続ける。

4. 財政の確保〔継続〕

（実施項目）

（1） 会員の拡大を図る。

（2） 会費改正の検討。

（検討項目）

（1） 新たな収益事業を検討する。〔短期計画〕

5. 広報活動の展開〔継続〕

(実施項目)

- (1) 法人パンフレットの作成
- (2) 事務局ニュースの編集・発行
- (3) メールマガジンの配信
- (4) ホームページを活用した各事業の活動内容の公開